

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 11 月 18 日 (2021.11.18)

【公開番号】特開 2021-130823 (P2021-130823A)

【公開日】令和 3 年 9 月 9 日 (2021.9.9)

【年通号数】公開・登録公報 2021-042

【出願番号】特願 2021-78556 (P2021-78556)

【国際特許分類】

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

C 0 9 D 4/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 201/00

C 0 9 D 4/00

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 24 日 (2021.9.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 活性化されたメチレン基またはメチン基中の酸性プロトン C - H を少なくとも 2 つ有する反応性成分 A を含む架橋性成分と、

(b) 活性化された不飽和基を少なくとも 2 つ有する反応性成分 B を含む架橋性成分と、

(c) 反応性成分 A と B との間での R M A 反応を活性化できる触媒 C と、

(d) 反応性成分 A または反応性成分 B と反応できる 1 つ以上の官能基 X を含む部分と、アルコキシシラン基ではない基材表面に吸着するか、それと反応する、1 つ以上の官能基 Y を含む部分と、を含む 1 つ以上の接着促進剤 P と、を含む R M A 架橋性組成物であって、

反応性成分 A はマロネートまたはアセトアセテートであり、反応性成分 B はアクリロイルであり、前記 1 つ以上の官能基 X は、マロネートまたはアセトアセテートと、および / またはアクリロイルと、反応でき、

官能基 X および Y の両方は、分子からぶら下がっている官能基であり、

前記 1 つ以上の官能基 X は、一級アミンもしくは二級アミン、水分で脱ブロックできる一級アミンまたは二級アミン、チオール、イソシアネート、エポキシ、または R M A 反応性成分 A ' もしくは B ' からなる群から選択され、前記官能基 Y を含む部分に架橋基 R を介して任意選択で連結され、

前記 1 つ以上の官能基 Y は、窒素含有複素環官能基、またはアルコール、ジオールもしくは水分で脱ブロックできるジオール、トリオール、アミドおよび尿素もしくは置換された尿素からなる群から選択される極性官能基である、

R M A 架橋性組成物。

【請求項 2】

接着促進剤 P の重量は、接着促進剤 P と前記反応性成分 A ' または B ' との付加物の場合には反応性成分 A ' または B ' の重量を含まないが、前記架橋性成分の総重量に対して 0 . 1 ~ 1 0 重量 % である、請求項 1 に記載の R M A 架橋性組成物。

【請求項 3】

前記成分 A、B、C のうちの 1 つ以上を含む 2 つ以上のパーツを含むパーツのキットという形態である、請求項 1 に記載の RMA 架橋性組成物であって、

(a) 少なくとも 1 つのパーツは、触媒 C を含むが A および B を両方とも含むことはなく、好ましくは A も B も含まず、

(b) 少なくとも 1 つのパーツは、触媒 C および、成分 A、B、C またはさらなるコーティング添加剤のうちの 1 つ以上を含まず、

(c) 前記キットのパーツのうちの 1 つ以上は、前記接着促進剤 P のうちの 1 つ以上を含む、

RMA 架橋性組成物。

【請求項 4】

前記 RMA 架橋性組成物は、成分 A が主にマロネートである架橋性成分を含む、請求項 1 に記載の RMA 架橋性組成物。

【請求項 5】

前記 1 つ以上の官能基 Y は、前記架橋性成分中の RMA 反応性成分 A および / または B と同じであるか異なっている RMA 反応性成分 A' または B' である、請求項 1 に記載の RMA 架橋性組成物。

【請求項 6】

前記水分で脱ブロックできる一級アミンまたは二級アミンは、ケチミン、アルジミンまたはオキサゾリジンである、請求項 1 に記載の RMA 架橋性組成物。

【請求項 7】

前記 1 つ以上の官能基 Y は、ピリジン、イミダゾール、環状アミド、ピロリドン、モルホリン、トリアゾール、ベンゾトリアゾールまたは環状尿素という群から選択される窒素含有複素環基である、請求項 1 に記載の RMA 架橋性組成物。

【請求項 8】

前記 1 つ以上の官能基 X は、多官能性の反応性成分 B' である、請求項 1 に記載の RMA 架橋性組成物。

【請求項 9】

前記接着促進剤 P は、前記多官能性の反応性成分 B' と窒素含有複素環官能基との反応生成物であり、前記反応生成物は、官能基 X としての 1 つ以上の反応性成分 B' と官能基 Y としての 1 つ以上の複素環官能基とを含む、請求項 8 に記載の RMA 架橋性組成物。

【請求項 10】

前記接着促進剤 P は、ポリアクリロイル、好ましくはトリアクリロイルまたはテトラアクリロイル、とイミダゾール、トリアゾールまたはベンゾトリアゾールとの反応生成物である、請求項 1 に記載の RMA 架橋性組成物。

【請求項 11】

前記 1 つ以上の官能基 X は、多官能性の反応性成分 A' である、請求項 1 に記載の RMA 架橋性組成物。

【請求項 12】

前記接着促進剤 P は、官能基 X がアミンである接着促進剤 P と多官能性アセトアセテートとの反応生成物であって、前記反応生成物は、接着促進剤 P にエナミン結合を介して結合した官能基 X としてのアセトアセテート基を含む、請求項 11 に記載の RMA 架橋性組成物。

【請求項 13】

前記接着促進剤 P は、多官能性アセトアセテート、好ましくは三官能性アセトアセテート、とアミノメチルピリジンとの反応生成物である、請求項 12 に記載の RMA 架橋性組成物。

【請求項 14】

前記接着促進剤 P は、水分で脱ブロックできるジオール官能基 Y としてのケタール、アセタール、オルトエステルまたはエポキシ、を含む、請求項 1 に記載の RMA 架橋性組成物。